

令和5年度 学校評価 自己評価書（1学期）

1 学校の重点目標

- (1) 基礎的・基本的事項の定着および主体的に学ぶ態度と思考力、判断力、表現力の育成。
- (2) 自他の人権を尊重し、ぼかぼか言葉・行動を進んで実践できる児童の育成。
- (3) 安全に気を付けた行動ができる児童、体力づくりに積極的に取り組む児童の育成。
- (4) お互いに協力しながら、なりたい自分に向かって努力し続ける児童の育成。

2 課題と改善策

〈4段階評価〉

	評価項目	評価		評価結果と改善方策
		職員	児童	
1 よく考え	(1) 個に応じた指導やICTを活用した指導 (2) 学ぶ楽しさを実感し、主体的に学び、対話や表現力向上をめざした指導 (3) 学習を見通す力の育成と学力の定着・向上のための指導 (4) 学習習慣と読書習慣の定着を図るための指導	2.7 2.6 2.9 3.1	3.8 3.2 3.5 3.3	・ 授業中以外に個に応じた指導をする時間の確保は難しい。 ・ 調べ学習での使用が多い。効果的な活用方法を積極的に取り入れる。 ・ 対話的な活動が進むよう、活用カード的なものを作成する。 ・ 主体的に学ぶための方法を研修し下の学年から積み上げていく。
2 素直で	(1) 人権意識と自他を尊重し認める感情の育成 (2) ぼかぼか言葉・行動や気持ちのよいあいさつ、良い反応の推進 (3) ボランティア活動、無言清掃、美しい環境づくりの推進 (4) 情報モラルを意識した情報活用能力の育成	3.3 3.5 3.0 2.8	3.7 3.6 3.5 3.4	・ ぼかぼか言葉・行動は実践できているが、ついチクチク言葉・行動をとる時もある。 ・ あいさつはできているが、声の大きさや礼の仕方については改善が必要。
3 ねばり強い	(1) 安心・安全に学校生活をおくる習慣の定着と安全な環境づくり (2) 規則正しい生活習慣の定着 (3) 感染症対策を踏まえた新しい生活スタイル (4) 体力づくり、健康づくりの習慣化	3.1 3.0 3.2 2.9	3.9 3.6 3.8 3.4	・ 指導をしてもなかなか児童の行動化に結び付かない。 ・ 体力づくりへの参加が課題。カードの活用や励まし、伸びを実感させながら意欲の持続化を図る。
4 平川の子	(1) キャリア教育（自己実現やよりよい社会の実現）の推進 (2) 仲間づくり（SST、SGE）や教育相談による積極的な生徒指導の推進 (3) いじめ・不登校への早期対応のためのチーム支援体制の確立 (4) まちづくり協議会、あいご会、PTA等との連携した行事運営や交流推進	2.9 3.4 3.2 2.9	3.4 3.6 3.6 3.2	・ 平川っ子ドリームプランを活用し、キャリア教育を推進していく。 ・ いじめアンケートや対策委員会を丁寧に行いいじめ・不登校の未然防止、早期発見・対応ができている。 ・ どうしても休日出勤との兼ね合いが出てきて参加が難しい。当番制を検討したい。
○	自己肯定感を高めるための取組の工夫	3.3		・ 自他の良さを見つめる機会を数多く設けている。
○	4S運動（整理、すっきり整頓、スリム化、賞賛）の推進	3.1		・ 机上、教室の整理整頓に努めている。
○	校務分掌業務の効率化、工夫、改善	3.0		・ データの有効活用、引継の工夫
○	個人として、働き方改革を進める工夫や努力	3.0		・ 勤務時間が45時間を超えることがあった。先を見て業務を行ってきたい。
○	組織として、働き方改革を進める工夫や努力	2.9		・ 休日実施の地域行事が多すぎる。 ・ 残業時間が平均0時間になったら改革されたと判断できるように設定する。
○	教育公務員として服務規律の厳正確保について高い意識をもった言動	3.4		・ 各自が自覚し、望ましい言動ができている。

3 次学期に向けての取組

- 教科指導について、研修内容を確実に実践することと指導過程を工夫して個に応じた指導や表現力の育成、ICTの活用を推進する。
- 体力づくりについて、目標設定や励まし、カードを活用した記録の伸びなどを伝え、自主的に運動しようとする自覚を高める。